

令和7年7月17日
川瀬英郎

資金繰り表を作ってみよう

1

本日は「資金繰り表」について、基本から実践までわかりやすく解説します

資金繰り表とは？

2

- 資金の流れ（入金・出金）を把握し、将来の資金残高を予測するための表です
- 目的：資金ショート防止（倒産の回避）
- 損益計算は投下資本の回収余剰計算であり企業の目的は現金を増加させること
- 資金繰りは会社経営の要である

キャッシュフロー計算書との違い

5

- 資金繰表は未来の入出金額を予測し先々の資金状態を管理する表(今回のテーマ)
- キャッシュフロー計算書は過去の会計期間の資金の流れを管理し把握する表(期首と期末のB/Sを比較して資金の流れを表示するもの)

黒字倒産を防ぐには

8

- 売掛金の管理を徹底する(与信管理を行う)
特に新しい取引先には注意すること
- 在庫管理を徹底する
安いからと言って大きなロットでの取引は行わない
- 自社の適正在庫を把握すること(回転率等の活用)
$$\text{在庫回転率} = \text{売上原価} \div \text{在庫金額}$$

資金繰表の作成ステップ

11

- 1. 現在の現金残高を確認する
- 2. 今後の入金予定を洗い出す(売掛金の回収)
- 3. 出金予定を洗い出す(買掛金の支払い)
- 4. 金融収支を入力する(借入金の返済)
- 5. 差額と期末残高を計算する
- 6. 季節変動と不定期支出の把握をすること

資金繰表を活用するメリット

14

- 将来の資金不足を予測でき、必要に応じて対策を講じることができる
- 意思決定が早くなる
- 取引先・金融機関への説明資料にもなる